

### 3 食を通じて環境に優しい暮らしを築くために



食べ残しや食品の廃棄を減らす取組や、身近なところでとれる農林水産物を積極的に消費・利用する地産地消をすすめるなど、環境に配慮した食生活への推進に取り組みました。



#### いいともあいち運動による地産地消の推進

愛知県

##### 【概要】

「いいともあいち運動」を多くの消費者の方に知っていただくため、運動のシンボルマークを商品パッケージ等に表示する取組を進めています。平成 22 年度には、弁当やパン、菓子、惣菜、漬物、飲料など、246 の食品にシンボルマークが表示されました。商品にはシンボルマークに加え、「いいともあいち運動（地産地消）を推進しています」などの応援メッセージも添えられており、「いいともあいち運動」の認知度向上に大きく貢献しています。



シンボルマーク

また、11 月のいいともあいちキャンペーン月間には、県内の百貨店、スーパー、農産物直売所など延べ 201 店舗において、約 2 万人の来店者にアンケート調査といいともあいちグッズのプレゼントを行い、いいともあいち運動の取組や地産地消への関心を深めていただくよう呼びかけました。

##### 【成果や今後の取組等】

地産地消の趣旨に賛同する企業や団体が加入するいいともあいちネットワークの会員は、平成 23 年 3 月末現在 890 会員で、1 年間で 134 会員の増加となっています。

今後は、このネットワークを活用した農商工連携の推進などに取り組み、新商品開発や販路の開拓など、愛知県産農林水産物の利用拡大を進めていきます。



#### 「あいちのふるさと農林水産フェア」で地産地消・食育をPR

愛知県

##### 【概要】

県民の皆さんに、愛知県の農林水産業や農山漁村の文化に触れ、地産地消や食育について楽しく学んでいただくことを目的として、平成 22 年 11 月 20 日から 23 日まで、「あいちのふるさと農林水産フェア」を開催しました。今年度はナゴヤドームを会場とした「ドームうまいもんワールド」として「あいちのふるさと農林水産フェア」と「全国ご当地グルメフェア」が同じ会場内で開催されました。展示や体験、農産物や加工品販売等により、地産地消や食育についての理解促進を図り、4 日間で 134,033 人(前年比 411.2%)の来場者で賑わいました。

##### 【成果や今後の取組等】

この取組は 5 回目となり、地産地消や食育を広く紹介する機会となっており、今回は、「あいちのふるさと食品」の展示紹介や元中日ドラゴンズの立浪和義さんが食育・地産地消を語るトークショーなどを行いました。来場者を対象としたアンケート結果でも、地元産農林水産物等の紹介・販売とともに、食育について学ぶことができたとの回答が寄せられました。今後もイベント等を通じて、地産地消、食育の普及に努めます。



## もっと、「あいちの茶」を知ってください！！

愛知県

### 【概要】

「あいちの茶」の効果的な PR を目的として、平成 22 年 11 月 20 日から 23 日までナゴヤドームで開催された「あいちのふるさと農林水産フェア」の後半 2 日間、気軽に「あいちの茶」に接してもらおう場や購入できる場づくりなどを行いました。

特に、急須利用による「かぶせ茶」・「深蒸茶」、シェーカー（クラッシュアイス入り）利用による「抹茶」の試飲は大人気で、約 4,500 人の来場者に呈茶を味わってもらいました。



立浪和義氏も PR に一役

### 【成果や今後の取組等】

この取組は、県が仲立ちとなり、愛知県茶業振興会、愛知県茶業連合会（青年会）及び協賛してくれたお茶屋の協働・連携のもと実施しました。試飲した方からは、「愛知県にもお茶の産地があるんですね」とか「かぶせ茶？てん茶？ってどんなお茶なの？」などの感想や質問があり、地産地消の面から茶産地の知名度向上に大きな成果をあげました。



いろんな茶を展示

一方で、同時に実施したアンケート結果からは、県内茶産地の知名度は未だ低い状況にあることもわかり、今後とも継続的に茶の PR に努めていきます。



## 米粉・Rice Powder フェア 2010 - 県産米粉を使った食品を一堂に集めて PR - 愛知県

### 【概要】

近年、小麦粉並みに微細な粉末加工が可能となり、小麦粉の代わりとしてパンや麺、洋菓子に使われはじめ、お米の新たな“ライス・スタイル”が作られつつあります。

また、小麦アレルギーの人からは米粉を使った洋菓子などに大きな期待が寄せられています。さらに、国内の米を利用することで食料自給率の向上につながります。

そこで、米粉の利用、消費拡大を進めるために、10月7日から12日まで、(株)丸栄(名古屋市)にて「米粉・Rice Powder フェア 2010」を開催しました。



フェアの様子

### 【成果や今後の取組等】

県産米粉を使用した食品を販売している 20 の団体・会社が出展し、県産米粉を使った食品の紹介、製造実演及び販売、食物アレルギー食事相談、家庭で作れる米粉を使った手軽な料理の紹介を行い、米粉の良さや特徴を PR しました。

約 25,000 人（前年対比 200%）が来場し、米粉及び米粉食品の認知度向上を図ることができました。今後は、アレルギーの人が食べられる食品を含め、米粉食品を増やす必要があり、さらに米粉の利用・消費拡大を図っていきます。



## 名古屋グランパスの試合会場で“愛知のかき”をPR

愛知県

### 【概要】

愛知県は、愛知県果樹振興会と協力して、平成22年10月2日、名古屋市の瑞穂公園陸上競技場で開催された名古屋グランパスの試合会場で、かきの消費拡大イベントを行いました。試合前に選手代表へ県の特産「次郎柿」を贈呈するとともに、会場内の大型ビジョンでおいしいかきが育つまでの過程を紹介しました。また、会場前の特設PRブースでかきの機能性などについて紹介し、かきの試食アンケートを行いました。



おいしいかきを食べて活躍を

### 【成果や今後の取組等】

当日は1万3千人を越す来場者に、県産のかきを広くPRすることができました。試食アンケートでは、試食した人の9割から「おいしい」との回答を得ることができ、かきのおいしさを理解していただくことができました。一方、果物の1日当たりの摂取量を聞いたところ、平均86gで健康のために必要とされる1日当たり200g（国推奨）の半分以下という結果となりました。



賑わうブース前

果物消費が低迷する中、今後とも果物の持つ機能性や県産果物のおいしさを広く知ってもらい、消費拡大運動に取り組んでいきます。



## 県産農林水産物を紹介する外国語パンフレットを作成

愛知県

### 【概要】

愛知県では中部国際空港の開港や愛・地球博の開催、COP10、トリエンナーレなどの国際的なイベントを通じて、海外との交流が活発に行われています。

そこで、本県で生産される農林水産物を海外へ紹介する外国語版パンフレットを作成しました。

### 【成果や今後の取組等】

パンフレットは英語と中国語(簡体字)で作成し、COP10会場で来場者へ配布したほか、県のWebページにデータを掲載しています。

今後は、本県を訪れる、あるいは在住の外国人の方に対してPRするだけでなく、輸出促進の取組の際にも本パンフレットを活用し、本県の優れた農林水産物を広く世界へ向けてPRしていきます。







## 父の日に乳(ちち)を贈ろうキャンペーン

愛知県酪農農業協同組合

### 【概要】

子どもや一般の方に酪農や牛乳への理解を深めてもらおうと、6月第3日曜日の父の日と乳(ちち)をかけて、子どもからお父さんへのメッセージを募集しました。優秀作品の10名には乳製品を進呈し、さらに田原市2名、西尾市1名、岡崎市3名の自宅には牛の着ぐるみが出向くというサプライズもありました。

### 【成果や今後の取組等】

「父の日に乳(ちち)を贈ろう」は3年目となり、PRイベントを道の駅「にしお岡の山」や豊橋のんほいパークなどで実施することで、みなさんに広く知っていただけたと思います。

学校ぐるみで応募してくれたケースもあり、美浜町立布土小学校へ出向いて表彰式を行うなど、より多くの子どもたちに牛乳への親しみを感じてもらえたと思います。今後は6次産業化をめざしている酪農家と連携して地産地消も一緒に推進していくなど、活動の幅を広げていきたいです。



お父さん いつもお仕事お疲れさま！



牛の着ぐるみから表彰されました



## 「農業高校生による生物多様性啓発事業」の実施

愛知県

### 【概要】

COP10（生物多様性条約第10回締約国会議）の開催に合わせ、食と農業、そして生物多様性との繋がりを理解してもらう「農業高校生による生物多様性啓発事業」を、県内7つの農業高校で取り組みました。各高校のもつ資源を活用し、農業高校の先生や生徒が指導役となり、地域の子どもや住民を対象に、農作業体験や生物多様性の学習を実施しました。

実施高校	参加者	実施内容（農作業体験、生物多様性の学習、収穫物の試食）
稲沢高校	地域住民 20 名	野菜の栽培体験 畑や用水路・畦畔の動植物観察 ハクサイ・ダイコンの漬け物作り
佐屋高校	愛西市立市江小学校 5 年生 73 名	「アヒル農法」による稲作体験 イネの出穂と開花、生物観察 餅つき、アヒル卵のプリンの試食
半田農業高校	半田市立岩滑小学校 5 年生 76 名	稲作体験 水田周りの水生生物観察と捕獲 お米の試食と食味試験
安城農業高校	安城市立安城中部小学校 5 年生 111 名	稲作体験 水田の小動物等の観察 餅つき、甘酒作り
猿投農林高校	井上幼稚園年長児 70 名	サツマイモ栽培体験 畑の生き物観察 石焼きイモ作り
新城高校	新城小学校 5 年生 68 名 新城中央保育園年長児 19 名	サトイモ・サツマイモ栽培体験 サツマイモ、茶の生育環境の学習 茶葉の天ぷら・八名丸サトイモ試食
渥美農林高校	田原市立田原南部小学校 3、4 年生 28 名 田原市立野田小学校 4 年生 37 名 蔵王幼稚園年長児 84 名	サツマイモ栽培体験 菜の花の観察 芋ようかん、鬼まんじゅう試食

### 【成果や今後の取組等】

参加した子どもからは「1年間の米作りを体験してその苦労がよく分かった」「田んぼの周りにこんなにも生き物がいるとは知らなかった」、高校の生徒からは「いつも自分たちがやっていることでも、教えることは難しくて勉強になった」などの感想があり、双方にとって貴重な学びの機会になったようです。このような取組が今後も継続することを期待しています。



田植えを指導（半田農業高校）



水田で見つけたミズカマキリ（佐屋高校）



お茶葉の天ぷら作り（新城高校）

（実施報告書がWEBページ「食育ネットあいち」に掲載されていますので、ご覧ください。）



## 生物多様性に配慮した農業推進フォーラムの開催

愛知県

### 【概要】

生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）の開催を機に、平成22年10月20日、愛知県女性総合センター（ウィルあいち）において「生物多様性に配慮した農業推進フォーラム」を開催し、エコファーマーや有機農業者、消費者・流通関係者等450名が参加しました。

兵庫県農政環境部の西村いつき氏によるコウノトリを育む農業の推進についての講演や2つの分科会で農業生産に伴う環境負荷を低減する取組の発表などを行いました。

### 【成果や今後の取組等】

消費者からは、コウノトリの話を通じて環境に配慮した農業生産の大切さや、農業が生物多様性の保全に果たす役割がよくわかったという意見が出されました。また、農業者からも、環境負荷低減に向けた農業生産の大切さがあらためて理解できたといった声が聞かれるなど有意義なフォーラムでした。

今後とも、環境と安全に配慮した農業の推進について、生産者と消費者、流通関係者の相互理解を促進します。



開会式



講演する西村氏



## 「農」と水の故郷(ふるさと)フェア 10 の開催 ～食料消費のコーナー～

愛知県

### 【概要】

愛知県や水土里ネット愛知などで構成する「『農』と水の故郷フェア実行委員会」では、平成22年9月25日、デンパーク（安城産業文化公園）において農業・農村の重要性と、その基盤を支える農地、農業用水、水源林などの役割・仕組について知っていただくため、『「農」と水の故郷フェア 10』を開催しました。

参加型イベントを始め、食や農業農村整備に関する展示コーナーなど、多数の催しを行いました。また、「食料消費のコーナー」では、日本の食を取り巻く現状を紹介し、農業が直面する問題を認識していただくとともに、パネルや模型を使って農業農村整備事業の必要性をわかりやすく説明しました。



展示コーナーを熱心に見入る来場者

### 【成果や今後の取組等】

この取組は、平成20年度から実施しており、今回で3回目となります。

食料を海外から輸入するということは、その食料の生産に使われている多くの水や農地もまた、海外に依存しているということを来場された方々に理解していただきました。

フェア会場は1,400人の親子連れで賑わい、参加者からは「家族で楽しみながら勉強することができ、とても良い体験になった」等、多くの意見が寄せられ大変好評でした。





### 地産地消の簡単なヘルシーメニュー

江南市

江南市民健康フェスティバルにおいて、地産地消の「簡単なヘルシーメニュー」を募集しました。小学5、6年生と一般市民から募集を行い、小学生149点、一般公募65点の応募がありました。審査の結果、小学生の部では優秀賞1点と奨励賞3点、一般の部では優秀賞1点と奨励賞1点が選ばれ、健康フェスティバル当日に表彰を行いました。また、同日に簡単なヘルシーメニューの調理実習を行い、多くの方に参加していただきました。地元でとれる野菜を使った料理は大変好評でした。



### 地産地消学校給食会会員のほ場見学

大治町

大治町の小中学校では、地産地消学校給食会会員の方のほ場見学をおこなっています。

5月27日から6月7日の間に「じゃがいも、にんじん、たまねぎ、モロヘイヤ」の畑で、野菜見学とお話を伺いました。「食育の日」の給食に使用する野菜ということで、興味深く聞く姿が印象的でした。当日は、招待給食やにんじんを使ったラッキーフラワー給食をおこない、地場産物の利用促進、農家の方との交流を図ることができました。



### 農業まつりで地産地消のPR

常滑市

11月3日、とこなめポートレース場にて常滑市農業まつりが開催されました。

その中で食育推進コーナーを設け、市食育推進委員会と健康づくり食生活改善協議会により、食育アンケート参加者に常滑産の新米と常滑の海苔を使用し100%地元の食材で「おにぎり」を提供しました。焼き海苔をその場で巻いて500個を渡し地域住民に「地産地消」のPRを行いました。おいしいと大好評でした。



### 「へきなん美人」を勉強したよ

碧南市

1月21日、24日新川小学校でニンジン講習会を開催しました。

碧南市地産地消推進協議会では、食育、地産地消推進を目的として碧南産農産物を使った体験教室を行っています。3年生137名の児童たちは「輝きネット・あいちの技人」の方からブランドニンジン「へきなん美人」のほ場準備から出荷までの一連の作業の説明を受け、「へきなん美人」を使ったニンジンゼリーやニンジンジュース、ニンジンスティックを作りました。児童たちは「へきなん美人」の甘さに驚いた様子でした。



### 三河一色うなぎまつりを開催

西尾市（旧一色町）

6月5、6日、一色さかな広場を会場に「第2回三河一色うなぎまつり」を開催しました。

両日とも特産品のうなぎをうなぎ丼にして提供しました。また、昨年行われた、うなぎレシピコンテストのグランプリ受賞作品の試食も行われました。

他にも、えびせんべい手焼き体験やアレンジフラワー作り体験もありたくさんの方に町の特産品を知ってもらうことができました。



### 梨&いちじくを使ったアイデア料理コンテスト

西尾市（旧吉良町）

旧吉良町では、9月26日に地産地消の取組として、地元産の梨やいちじくを使ったオリジナル料理（スイーツ）コンテストを開催しました。

応募総数49点の中から予選を勝ち抜いた7組が腕を競い、特産の梨やいちじくの美味しさを生かした自慢のアイデア料理を披露しました。味や見た目に加え、「独創性」や「作りやすさ」を審査し、その結果「梨のブラマンジェ」が最優秀賞に選ばれた他、優秀賞2点、入賞4点が表彰されました。



### 親子で調理実習！

豊根村

12月7日に、豊根中学校の生徒と保護者が地元野菜を使ったけんちん汁の調理実習を行いました。

豊根村では、学校給食に毎月1回地元産の野菜や米を使うようにしています。この日は調理実習として地元産の野菜を使い、親子でけんちん汁とおはぎを作り、給食として食べました。保護者が生徒に地元産野菜のダイコンやニンジン、ゴボウの切り方などを熱心に教え、生徒が実際に調理して料理ができあがりました。自分達で作った料理の味は格別なようでした。





## 4 食育を広めるために



地域の様々な場面で率先して食育の普及啓発活動を行っていただく人材の育成及び活動の支援に取り組むとともに、食に関する情報提供を様々な形で行いました。



### 食育の担い手養成講座の開催

愛知県

#### 【概要】

食育推進ボランティアの活動内容をより充実したものとするため、11月17日、29日にウインクあいち及びニチエイ調理専門学校において食育の担い手養成講座を開催しました。

県内各地域から参加したボランティア20名が、地産地消、伝統野菜や郷土料理等、愛知の特色ある食について学びました。また、地場産物にたまり醤油や赤味噌等の愛知の調味料を組み合わせた地産料理「次世代に伝えていきたい食」を考案し、実際に作り、試食しました。うんね貝やうずら肉、愛知の伝統野菜「方領大根」といった、その地域でしか手に入らない珍しい食材も登場し、今後のボランティア活動にどう反映していくのかが期待されます。

#### 【成果や今後の取組等】

平成20年度に食育推進ボランティアの登録数が目標の500人を超えました。今後は活動内容の充実を援助するとともに、ボランティア同士の交流ができるような講座を開催していきます。情報交換や異なる分野で活動するボランティア同士の連携が図られれば、もっと多彩な活動が展開されると期待されます。



方領大根の説明



考案した地産料理の試食



### 食育シンポジウムの開催

愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会

#### 【概要】

8月26日にウインクあいちで開催された『平成22年度愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究大会』において、本協議会が『食育シンポジウム』と題し、食文化研究者らを招き日本の食文化とは何かをわかりやすく話していただきました。当日は、本協議会の会員と県食育推進会議構成団体の方をあわせて、460名の参加がありました。

#### 【成果や今後の取組等】

この取組は、学校給食等の指導を通じて児童、生徒の健康で望ましい食生活の充実をめざし、栄養教諭・学校栄養職員の資質の向上を図る目的で開催しました。

昨年4月に新たな「学校給食法」が施行され、学校給食の目標に「我が国や各地域の伝統的な食文化についての理解を深めること」が明記されました。そこで日本を代表する食文化



シンポジウムの様子

研究者を招き、日本の食文化とは何かを学び、毎日の献立が、子どもたちに正しい食文化が伝承できていたかを今一度見直す機会にしたいと計画しました。米中心の日本の食文化の基礎から丁寧にお話を進められ、改めて食の伝播者として和食の良さを正確に子どもたちに伝えていく使命を感じました。



## JAグループ愛知における『食農教育』の取組

愛知県農業協同組合中央会

### 【概要】

JAグループ愛知は農業者が中心となる協同組合(JA)などの集まりです。そのためJAグループ愛知が取り組む「食育」は、食べ物の源には農業があることを理解してもらいたいという意味を込めて『食農教育』と言います。

『食農教育』は、その名のとおり「農」に「触れて」・「見て」・「感じて」もらう教育です。そうすることで、「食」に対する感謝の気持ちを育て、健全な食生活を実現し、“元気な子ども・元気な地域づくり”を目指しています。

そのため、各JAでは、子どもや親子を対象とした、農業体験教室・料理教室などの「食」とともに「農」を身近に感じることでできる多種多彩なイベントを開催しています。また、学校への教材提供や出前授業を行ったり、栄養教諭や学校栄養職員と協力しながら、学校給食で地元の農産物を食べることができる機会を増やすための検討会等も実施しています。

その他にも、「笑味(えみ)ちゃん」をキャラクターとした「みんなのよい食プロジェクト」など、マスコミを使った広報活動を通じて、県民のだれもが「食」と「農」について身近なところから見つめ直しただけよう啓発を行っています。

### 【成果や今後の取組等】

だれでも参加できる農業体験や料理教室などのイベントは県下20JAで随時開催されており、JAごとに趣向を凝らしたイベントとなっています。どのイベントも大変好評で、開催回数、参加者ともに増加傾向にあります。

さらに、平成22年度はJAの女性組合員を中心に構成するJAあいち女性協議会の60周年記念事業として、愛知県の農産物を使った伝統的な料理等のレシピ約80点をまとめた『あいちのめぐみ』を発刊し、3,000部作成・配布しました。この冊子を通じて「あいちの食」を次世代に伝えていってもらえることを期待しています。

JAグループ愛知は今後も、県民の皆さんが「食」と「農」に接する場を増やすことで、「地産地消」と「食育」の推進に努めていきます。



農業体験教室の様子



## 「輝きネット・あいちの技人」認定式を開催

農村輝きネット・あいち

### 【概要】

農村輝きネット・あいちでは、これまでのグループ活動で培い、優れた農業及び暮らしの技術を持ち、伝承できるグループ員を「輝きネット・あいちの技人」として認定しています。

平成 22 年 9 月 16 日に愛知県立農業大学校で認定式を開催し、12 名を認定しました。認定式後、新たに認定された「輝きネット・あいちの技人」は、それぞれ得意な技術を紹介しました。

### 【成果や今後の取組等】

「輝きネット・あいちの技人」の認定は平成 15 年度に始まり、これまでに 193 名を認定しました。技人は、味噌づくりやしめ縄づくりなど古くから農村に伝わる技術を地域住民に伝えるほか、小学校等で子どもたちに地域の伝統料理や食育の大切さを教える講師となるなど、幅広く活躍しています。

今後も優れた技術を持った技人の活躍を期待するとともに、認定者数を増やしていきます。

#### 技人の技術の種類

- (1)地域の伝統食・郷土食・行事食等農家の食事に関する技術
- (2)農畜産物の加工に関する技術
- (3)手工芸に関する技術(わら細工、竹細工、炭焼き等)
- (4)農業生産及び作業方法技術
- (5)その他、農業・農村の暮らしを向上する技術



認定証書の授与



技人の活動の様子



## 豊川市立南部中学校「学校栄養職員と連携して食の大切さを伝える」

愛知県小中学校長会

### 【概要】

豊川市立南部中学校では、学校栄養職員が食育研究推進部会に参加し、委員会活動や教科学習、学級活動、総合的な学習の時間などに積極的にかかわり、食に関する指導を広げてきました。

学校栄養職員の給食訪問では、全クラスで実施し、学年ごとにテーマを決め、給食の大切さや自分の食生活を見直すことを自作の資料を使って講話をしています。毎月発行される『食育だより』と合わせて、生徒たちの食に対する関心を高めています。

給食委員会では、学校栄養職員の助言で「残菜ゼロキャンペーン」と豊川市学校給食献立コンクールの応募に力を入れています。コンクールでは、応募数が年々増え、「大根マーボ」「記憶力アップスープ」という地場産物を使った料理が表彰されました。

年 1 回開かれる給食・保健集会では、学校栄養職員が地場産物を使った簡単調理の実演をして、地場産物のよさをアピールしました。

### 【成果や今後の取組等】

残菜ゼロキャンペーンを実施したことで、給食の残菜が豊川市の中でとびぬけて少なくなりました。今後も学校栄養職員と連携を密にして、食に関して家庭に働きかけていけるような取組をしていきたいと思っています。



記憶力アップスープ



給食・保健集会での実演





## 「あいち食育いきいきキャンペーン」の開催

愛知県

### 【概要】

食育の実践を県民の皆さんに呼びかけるため、平成 22 年 6 月 13 日に「あいち食育いきいきキャンペーン」を開催しました。

キャンペーンで「食育推進大使」に任命された中日ドラゴンズの大人気マスコットキャラクター「ドアラ」は、任命式会場であるアピタ長久手店のほか、リニモの車内や金山駅に登場し、限定ドアラグッズ等を配りながら食育の実践を呼びかけました。

任命式会場では、食育推進ボランティアの「とにとクラブ」による食育クイズや、あいち食育サポート企業団によるクッキング教室も開催され、参加者は楽しく食育に親しんでいました。

### 【成果や今後の取組等】

人気の高いドアラの効果もあり、各会場には計約 2,000 名の方が集まりました。ボランティアや企業団など、様々な食育の担い手と連携して開催できたことは、今後の取組にも生かされると考えています。



知事より任命状授与



金山駅での啓発活動



## 中学生食育啓発ポスターコンクールを実施しました

愛知県

### 【概要】

愛知県では、夏休み期間中に中学生を対象に食育をテーマにしたポスターを募集しました。80 校から応募された個性豊かな 1,935 作品の中から、3 点が優秀作品に選ばれました。

受賞者には、10 月 14 日に県議会議事堂で副知事、県議会議長、教育長から表彰状が授与されました。

### 【成果や今後の取組等】

優秀作品 3 点及び優秀賞受賞 158 点は、地域の食育イベントや公共施設等で展示し、来場者に食育を啓発しました。

また、愛知県知事賞受賞作品はポスターとして印刷し、学校、市町村、食育関係団体、スーパーマーケット

やコンビニエンスストアに掲示し、食育啓発に活用しています。



愛知県知事賞  
豊川市立東部中学校 3 年  
柳瀬結花さん



愛知県議会議長賞  
田原市立福江中学校 3 年  
山本梓美さん



愛知県教育委員会賞  
一宮市立尾西第三中学校 3 年  
森佑美子さん



## 「あいち食育いきいき検定」を実施

愛知県

### 【概要】

食への関心と知識を深めてもらうため、楽しみながら学べるインターネットを使った「食育検定」を平成 21 年度に引き続き実施しました。

栄養バランスを始め食料自給率、郷土料理、食品表示や食べ物の旬などさまざまな分野から出題しました。さらに、市町村や食育関係団体からも問題を提供してもらい、食育の取組や地域の農産物などについて多くの方に知ってもらう機会にもなりました。

受検者数 2,753 人、合格者数 1,055 人で合格率は 38.2% でした。昨年度は合格率が 3 割に達しませんでしたので、今回は皆さんの食に関する知識が深まっている結果かもしれません。

実施期間 平成 22 年 9 月 1 日～平成 22 年 10 月 31 日(2 か月間)

受検コース 「こどもコース」、「一般コース」いずれも 25 問

出題内容 あいち食育いきいきプラン、栄養バランス、地産地消、地域の食・食育など

結果表示 80 点以上を合格とし、全問解答後に正解と解説を表示。



出題画面の例

### 【成果や今後の取組等】

受検後のアンケートでは、「食料自給率や食の安全性については、普段はあまり気にしていなかったのですが、検定は食育について考えるよい機会になった」、「日本では食の安全に対する制度や意識が非常に高いが、知識を受ける場が少ない。これからも検定のような情報発信をしてほしい」などの意見があり、8 割以上の方が「受検してよかった・まあまあよかった」と評価しています。

今後もより多くの方が食育について意識を高め、実践してもらえるよう取り組んでいきます。



## 食育実践のための教材開発

愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会

### 【概要】

県内統一テーマ「朝食をしっかりと食べよう！」と「食文化の伝承」に基づく食育実践のための教材開発を行い、今年度は『食育エプロン』を作製しました。



給食の材料はどこから来たの？  
(地産地消マップと食育エプロン使用)



食育エプロンを使って～朝食をしっかりと食べよう！～

### 【成果や今後の取組等】

昨年度はフードマイレージや地場産物、郷土食等をわりやすく指導できるようにオリジナル布製マップを作成したので、食に関する指導の場であわせて利用できるようにしました。



## メーデーイベントで健康・食生活をPR

日本労働組合総連合会愛知県連合会

### 【概要】

平成 22 年 4 月、名古屋市栄の久屋大通り公園で開催された「第 81 回愛知県中央メーデー」のイベント会場において、「血管年齢測定と医師による相談コーナー」と「地産地消商品のPR、展示即売コーナー」を設置し、メーデーに参加した約 3,000 名の組合員・家族に対し、食生活改善や地産地消の重要性をPRしました。

### 【成果や今後の取組等】

「血管年齢測定と医師による相談コーナー」では血管測定に長蛇の列ができ、「地産地消商品のPR、展示即売コーナー」でも用意した商品が短時間で完売となるなど、参加者の健康・食生活に対する関心度の高さが示されました。

平成 23 年のメーデーにおいても同様の取組を展開していくこととします。



あなたの血管年齢は？



地産地消のPRと展示即売コーナー





### なごや食育応援隊による食育講座を開催

名古屋市

1月から3月まで計3回にわたり、なごや食育応援隊による食育講座を開催しました。「なごや食育応援隊」は、各方面で食育の活動をしている個人や団体、企業など、70団体・個人、17企業が登録しています（平成23年1月現在）。

食育講座は、応援隊メンバーがボランティアで参加していただき企画から立ち上げました。食育の講話と調理実習という内容で参加者にも「食」について考えていただく機会になりました。



### 小牧市食育推進チームによる食育啓発

小牧市

11月20日、21日に開催された農業祭において、「朝食をしっかりと食べよう！～朝食に野菜を食べましょう～」をテーマに小牧市食育推進チーム及び関係団体（中部大学、名古屋経済大学、小牧市栄養教諭・学校栄養職員部会、小牧市健康づくり食生活改善協議会、小牧市食育サポーター）が食育啓発コーナーを開設しました。

当日は、参加者が食べてきた朝食の栄養価等について説明した後、1日に必要な野菜の量あてゲームや、適正塩分の味噌汁試飲、朝食パズルなど各種体験、小牧の郷土料理の作り方など各種パネルの展示を行いました。

参加者からは「1日に必要な野菜の量が意外に多いのに驚いた」「伝統の味・郷土の食を初めて知った。将来の子ども達に知らせることは大切だと思った」といった声が聞かれました。



### 大学生による食育支援のための出前授業

稲沢市

名古屋文理大学の学生たちが、地元稲沢市の公立小学校2校の高学年児童を対象に毎年6月に出席授業を実施しています。正しい食習慣形成の確立のために、「朝ごはん」を主題に「総合学習」の時間を利用して食育支援を行いました。

出席授業当日は、学生たちが“くるくる戦隊食レンジャー”に扮し、食事バランスガイドを活用して、「あなたのコマは回っていますか」をテーマに自作自演の寸劇を行いました。保護者からは、いつも野菜嫌いでなかなか食べてくれない子が、野菜を食べようになった等の声が聞かれました。



### 食育プチまつり

北名古屋市

6月19日に北名古屋市健康ドームにおいて「食育プチまつり」を行いました。

朝食をしっかりと食べようの推進では、ボランティアの用意した食材を使って親子でおにぎりを作って食べるコーナーや、事前に募集した「おにぎりデザイナー」の写真による人気投票も行いました。

また、市内でとれる野菜や果物の写真展示も行い、訪れた親子がクイズに挑戦しました。ボランティアによる昔のおやつを試食コーナーでは、子どもたちが舌鼓を打つ姿も見られ、大人は地元野菜の販売コーナーで新鮮野菜を購入して地産地消を実感していました。



### 学校給食週間にかっきーちゃん入り卵焼きを使用

知立市

1月24日から1週間は学校給食週間です。学校給食週間中には郷土の産物や料理を見直したり、多くの人の手がかかって給食ができている事を感謝する週間でもあります。そこで、知立市の食育マスコットキャラクターの「かっきーちゃん」を卵焼きにプリントして給食に提供しました。子どもたちには今後も親しんでもらえるように、給食時には食育メッセージで「かっきーちゃん」の紹介をしてもらいました。子どもたちからは「女の子がかわいかった」という声をもらいました。



他に知立市の給食には「煮味噌」、「ひきずり」などの郷土食や知立市産の米の粉で「米粉パン」、知立市産の大豆で「マーボードーフ」、知立名物のあんまきを「あんまきの天ぷら」にして給食に提供しました。また、愛知県産の切り干し大根を「ピリカラ炒め」にしました。また市内の小学校から応募されたわがやの自慢料理「大豆の揚げ煮」も取り入れ、試食会も開催し保護者の方にも好評でした。

### 食育月間・食育の日に食育フェスタ開催

豊田市

6月19日、市食育推進会議が中心となって、日本赤十字豊田看護大学にて「食育フェスタ」を開催しました。

市食育推進計画3年目のまとめとして、食育モデル地区の活動発表のほか、料理研究家 枝元なほみさんの講演や盛りだくさんの食育ブース、学生による体力測定などを行いました。

会場は多くの住民や学生で賑わい、食育ゲームやバター作り体験、料理コンテスト作品試食など、楽しみながら食にふれる機会となりました。



### 食育まつり開催

新城市

新城市では、10月31日に食育の啓発に向けた「お食べんしんしろ食育まつり」を開催しました。地産地消をテーマに講演会、地元産農産物販売、乳しぼり擬似体験、地元産のもち米での餅つき体験、ポン菓子、簡単朝ごはん試食とレシピ配布、おにぎりを握る体験、体成分測定と健康指導などを関係団体をはじめ地元農家の方などと一緒に、食育・地産地消の啓発を行いました。来場者からは、食育や地産地消について理解でき、「新城でもこんな農産物がとれるんだね」といった声が多く聞かれました。



### 食彩フェスタ 2010 が開催

設楽町

7月31日・8月1日、設楽町旧名倉中学校を会場にして、奥三河の「食」をテーマに「食べる」・「遊ぶ」・「体験する」を展開するイベントが開かれました。取れたての地元野菜の販売、丸太のぼり、丸太切り、パーベキューコーナーやマstuffかみ取り、木工体験、野山の散策、野菜もぎ取りツアーなど数多くのメニューを実施し、町内外を問わず多くの方にご来場いただきました。このイベントは今年で7回目を迎え、名倉高原の夏の風物詩となっています。



## 県や関係団体等の取組一覧

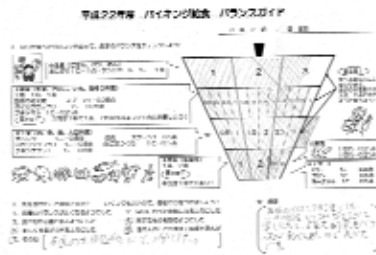


「Ⅲ 主な取組の状況」で紹介した取組を含め、プランで位置づけた県や関係団体等の平成22年度の取組については、次のとおりです。

### 1 食を通じて健康な体をつくるために

#### (1) バランスのとれた食生活の推進

取組内容	報告者
<b>「食生活指針」や「食事バランスガイド」の活用促進</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社員食堂等の利用者を対象とした食事バランスガイド普及啓発のための研修会や講演会を開催（各保健所）</li> </ul>	【県健康福祉部】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスよく食べることの大切さを食育劇で伝えます【P.15 参照】</li> </ul>	【県農林水産部】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「バイキング給食」を実施（22.10.15～12.17 稲沢市立大里中学校） 対象：生徒 338 人 〔食に関する自己管理能力の育成や食事マナーの習得等を目的として、バイキング給食を全クラスで10回実施。食後には、食事バランスガイドを活用して、自分が選んだ食事のバランスチェックを行っています〕</li> </ul>	【県教育委員会】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第7回みなと介護フェア」に講師を派遣（22.11.14 名古屋市） 介護職員と連携し、栄養バランスのとれた簡単調理を提案・実演 来場者（約1,000名）</li> </ul>	【愛知県薬剤師会】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育グループ「moko」幼稚園への食育出前講座【P.17 参照】</li> </ul>	【愛知県食生活改善推進員連絡協議会】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事バランスガイドや食生活指針の講話及び食育劇を実施 対象者：学校給食関係者 100 名</li> </ul>	【愛知県食生活改善推進員連絡協議会】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子で「食」について楽しく学ぶ「くいしんぼひろば」を開催 参加者：約 600 名 対象者：小学生とその保護者 〔5回の通し企画として、3店舗（高蔵寺ニュータウン・コープ小幡・コープもとやま）で実施〕 10月「はじめての会でおにぎりづくり」 11月「食事バランスガイド」 12月「メーカーさんと商品づくり、お正月にぴったりのデザート」</li> </ul>	【生活協同組合コープあいち】





<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育推進ボランティアと育児講座を開催【P.27 参照】</li> <li>・児童館で食育教室を開催【P.27 参照】</li> <li>・好き嫌いをなく何でも食べよう！【P.28 参照】</li> <li>・かにえレポート【P.28 参照】</li> <li>・大学生による食育支援のための出前授業【P.65 参照】</li> </ul>	<p>【瀬戸市】</p> <p>【東郷町】</p> <p>【津島市】</p> <p>【蟹江町】</p> <p>【稲沢市】</p>
<p>「妊産婦のための食生活指針」の普及推進</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦用リーフレット「パパとママへお知らせ」作成 配布先：市町村から母子健康手帳の交付時に配布 〔バランスのよい食事が大切なこと及び妊産婦のための食事バランスガイドに関するホームページ掲載アドレスを掲載〕</li> </ul>	<p>【県健康福祉部】</p>
<p>日本型食生活の良さの啓発</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本型食生活の良さを啓発する愛知県食育推進ボランティアの活動を支援 登録者数：555 名</li> <li>・アイデア野菜料理コンテストの開催【P.29 参照】</li> </ul>	<p>【県農林水産部】</p> <p>【東浦町】</p>
<p>「早寝 早起き 朝ごはん」運動の普及啓発</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育だよりによる各家庭の朝食献立紹介（豊橋市立石巻小学校） 〔我が家の朝ごはんメニュー〕を募集し、応募メニューを「突撃！となりの朝ごはん」というテーマで「食育だより」に毎月紹介。また、夏休み親子料理教室に応募メニューを取り入れ、保護者に朝食の重要性について啓発をしました〕</li> </ul>	<p>【県教育委員会】</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康科学館で実施している小・中学校の食育・健康づくり【P.16 参照】</li> <li>・「家族とつくって食べたい！栄養満点朝ごはん」メニューを募集【P.27 参照】</li> <li>・健康づくり計画「朝食コンテスト」を開催しました【P.28 参照】</li> <li>・朝食メニューコンクールの開催【P.30 参照】</li> </ul>	<p>【愛知県健康づくり振興事業団】</p> <p>【尾張旭市】</p> <p>【長久手町】</p> <p>【安城市】</p>

<p><b>P T A 活動による家庭への普及啓発</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもが喜ぶお弁当作り」と題してP T A講習会開催（22. 6. 18 名古屋市立はとり幼稚園）          [おかず作りのテクニックや動物やキャラクターおにぎりの作り方、弁当箱に詰めるコツなどを学びました。その結果、子どもとの会話も弾むようになり、保護者同士の情報交換が活発になりました]</li> </ul>	 <p>【愛知県国公立幼稚園長会】</p>
<p><b>子どもの食生活についての指導の充実</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食委員会の児童が、全校集会で朝食の大切さを発表し、朝食で食べて欲しい食品を「合い言葉」にしました。集会後には、「生活チェック表」を活用して1週間の朝食調べに全校で取り組みました。その結果、朝食で野菜を食べた児童が47.5%から56.3%に増加しました。[豊明市立栄小学校]</li> <li>・「子どもの生活習慣づくりフォーラム in あいち」でポスターセッションに参加【P.17 参照】</li> <li>・通信型食育プログラム「たべるたいせつキッズクラブ」          [ワークブックやおたより通信、おたよりカードなどの教材を使って、親子が一緒になって「食」について考えるプログラムです]</li> </ul>	<p>【県教育委員会】</p> <p>【愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会】</p> <p>【生活協同組合コープあいち】</p>
<p><b>給食を活用した食に関する指導の充実</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「給食だより」（毎月1回）の発行及び「給食週間」（23. 1. 24～1. 28）を実施 対象：全校児童生徒</li> <li>・「卒業記念食事会」を実施 対象：小学部児童、中学部生徒</li> <li>・生活科の授業で「野菜のひみつを知ろう」を実施（南知多町立豊浜小学校） 対象：2年生          [実物の野菜を使って名前を当てるクイズを取り入れました。児童からは「食べたことないからわからない！」の声も上がったが、給食の献立に登場していることを知らせながら教えると、「そうなんだ」と驚いた声が聞かれました。授業後は、児童から野菜の名前を尋ねられることが多くなり、野菜への関心を高めることができました]</li> <li>・みどり保育園の「ハッピー♥にんじん」【P.18 参照】</li> </ul>	<p>【県教育委員会】</p> <p>【県教育委員会】</p> <p>【県教育委員会】</p> <p>【愛知県社会福祉協議会】</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育エプロンを使って「食べ物と体の働き」を学ぶ（岡崎市立矢作幼稚園）        [毎日食べる給食が、口の中に入ってからうんちになるまでの道筋をわかりやすく伝えることで、子どもたちは食べることへの関心が高まったようで、その日の給食をいつも以上に全部食べようとする様子が感じられました]   </li> <li>・毎日の給食を通して、食べることへの興味を育てる取組を実施（刈谷市公立幼稚園）        [みんなと一緒に食べることは「おいしい」「楽しい」といった気持ちをもてるよう、好き嫌いの多い子には無理をさせず、楽しみながら食べられるような工夫をしています]   </li> <li>・管理栄養士を講師として「ぱくぱく教室」を開催（豊田市立山之手こども園）        対象：5歳児        [3つの食品群とその栄養について学びました。その後の給食試食会では、「ぱくぱく教室」での内容を保護者に話しながら給食を食べました。家庭でも“赤・黄・緑の食べ物”のことが話題となったようです]   </li> <li>・名古屋市立旗屋小学校「みんなで作ろう!旗屋の給食」【P.18 参照】</li> </ul>	<p>【愛知県国公立幼稚園長会】</p> <p>【愛知県国公立幼稚園長会】</p> <p>【愛知県国公立幼稚園長会】</p> <p>【愛知県小中学校長会】</p>
<p>保育所における子育て家庭からの相談への対応</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現任保育士指導者養成研修の中で、食育講座を実施</li> </ul>	<p>【県健康福祉部】</p>
<p>栄養教諭等による「家庭における食育」の普及啓発</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「元気の出る朝ごはんメニュー」親子料理教室を実施（22.7.26、30 阿久比町立南部小学校、阿久比町給食センター主催）        対象：小学4～6年生児童とその保護者 延べ108人        [子どもたちに栄養バランスの整った朝ごはんを食べる体験学習を目的に、地元の食材を使ったメニューで調理実習を実施。参加者からは「家でもまた作ってみたい」「苦手なほうれん草を食べることができた」という感想があり、朝ごはんを見直す良い機会となりました]</li> <li>・武豊町立武豊中学校「家庭や地域とともに食について考えよう」【P.19 参照】</li> <li>・子育て応援団 チュウキョ〜くんのすこやかフェスタへ参加！【P.19 参照】</li> </ul>	<p>【県教育委員会】</p> <p>【愛知県小中学校PTA連絡協議会】</p> <p>【愛知県栄養士会】</p>



・給食調理員を講師に料理教室を開催【P.29 参照】	【大府市】
・小中学校で保護者に朝食の啓発【P.30 参照】	【高浜市】

## (2)生活習慣病等の予防対策

取組内容	報告者
<b>子どもの肥満予防等の推進</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食当番に向けて、ご飯の適切な量がわかるように写真を掲示。</li> <li>・給食だよりや給食ニュースの資料を掲示するなど、バランスのとれた食事について啓発。</li> <li>・家庭と連携した肥満指導の実施（美浜町立河和小学校） 対象：肥満度 20%以上の 4 年生以上 〔個別指導を中心に行い、長期の休み前には保護者と児童を対象に相談会を実施。休み後は、休み中の生活の様子を児童に聞きながら、今後の目標を決めています。指導内容については、常に保護者にも知らせ、家庭との連携を大切にして指導を進めています〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【県教育委員会】</li> <li>【県教育委員会】</li> <li>【県教育委員会】</li> </ul>
<b>歯の大切さについての啓発活動の推進</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「かみかみメニュー」を献立に取り入れて、「噛むことの大切さ」を放送でPR（碧南市立日進小学校） 〔毎月献立表に明記する「かみかみメニュー」で、歯や噛むことの大切さを保護者や児童に紹介。給食委員会による一言放送や栄養教諭からの指導、毎週金曜日の全校フッ素洗口により、虫歯予防にも取り組んでいます〕</li> </ul>	【県教育委員会】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「げんきな園児・めざせ未来の8020」【P.20 参照】</li> </ul>	【愛知県歯科医師会】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業と連携 歯に関する食育イベント開催【P.21 参照】</li> </ul>	【愛知県歯科医師会】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「親がお手本！デンタル・ケア教室」を実施（22.6.15～16 安城市立安城幼稚園） 対象者：年長児親子 150 人 内 容：・歯みがきカレンダーを園児に配布 ・歯科衛生士が、保護者向けに歯ブラシの動かし方と補助清掃用器具を使った磨き方を指導</li> </ul>	【愛知県国公立幼稚園長会】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医による歯みがき指導会を開催（22.6.3 西尾市立平坂幼稚園） 対象者：保護者 200 人</li> </ul>	【愛知県国公立幼稚園長会】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯みがきカレンダーを作成し、家庭に配布 対象者：全園児（西尾市内公立幼稚園 628 人）</li> </ul>	【愛知県国公立幼稚園長会】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・弁当・給食後の歯みがきを 4・5 歳児が実施（通年）</li> </ul>	【愛知県国公立幼稚園長会】



<ul style="list-style-type: none"> <li>・「口・歯の健康」をテーマとした健康セミナーの開催（22. 10. 13～14 あいち健康の森）対象者：約 60 名</li> <li>・「お口の健康づくり」をテーマとした健康セミナーの開催（22. 10. 5 名古屋市）対象者：シルバークラブ会員約 70 名</li> <li>・手作りみそで作る調理実習『かみかみメニューでおいしくかみかみ！』【P.27 参照】</li> <li>・保育所（園）でぴかぴかもぐもぐ教室を開催【P.29 参照】</li> <li>・歯・口の健康と食育～嚙ミング30をめざして～【P.29 参照】</li> </ul>	<p>【日本労働組合総連合会愛知県連合会】</p> <p>【日本労働組合総連合会愛知県連合会】</p> <p>【岩倉市】</p> <p>【飛島村】</p> <p>【東海市】</p>
<b>職場での健康診断等に基づく食生活改善の推進</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事体験型教室の開催【P.22 参照】</li> </ul>	【愛知県健康づくり振興事業団】
<b>地域における健康対策指導</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育推進協力店において、生活習慣病予防を啓発 〔「世界糖尿病デー」（22. 11. 14）にあわせ、メタボリックシンドローム・糖尿病予防を県民に広く啓発するため、ポスターを掲示〕</li> <li>・健康教育講座を開催【P.23 参照】</li> <li>・「家庭介護者等養成研修企画研修」（愛知県市町村振興協会主催）で講演（県内 23 地区） 〔演題：「高齢者が薬・健康食品と上手につきあうために」〕</li> <li>・「健康介護まちかど相談薬局」を設置（22. 9. 18 大府市「あいち県民健康祭」）〔併せて健康食品等に関するアンケートを実施〕</li> <li>・「生活習慣病予防」をテーマに健康セミナーの開催（22. 10. 13～14 あいち健康の森）対象者：約 60 名</li> <li>・高齢者を対象に配食事業を実施（東栄町内全地区） 対象者：希望者（1 月あたり 400～500 食） 〔食事バランスを考慮し献立を作成。材料注文、調理から配達まですべてを行います。また、食品衛生の講習会を実施するなど衛生管理を徹底〕</li> </ul>	<p>【県健康福祉部】</p> <p>【愛知県医師会】</p> <p>【愛知県薬剤師会】</p> <p>【愛知県薬剤師会】</p> <p>【日本労働組合総連合会愛知県連合会】</p> <p>【愛知県食生活改善推進員連絡協議会】</p>
<b>(3) 食品表示の適正化や食の安全に関する普及啓発</b>	
取組内容	報告者
<b>食品表示の適正化の推進</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費生活モニター設置（400 名） 〔食品表示を含む消費生活分野全般に関する監視・通報〕</li> <li>・「農産物の価格動向及び安全性」をテーマとした懇談会開催（22. 11） 参加者：消費生活モニター等消費者、関係事業者、学識者、行政 〔結果について、啓発紙、ホームページで普及啓発を図りました〕</li> </ul>	<p>【県県民生活部】</p> <p>【県県民生活部】</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の販売・製造事業者に対し、栄養成分表示の相談や不適切な表示に対する指導を行った。</li> <li>・「食品の適正表示推進者講習会の開催【P.24 参照】</li> </ul>	<p>【県健康福祉部】</p> <p>【県農林水産部】</p>
<b>栄養成分表示店の指定等の推進</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養成分表示を始め食育や健康に関する情報提供を行う「食育推進協力店」登録事業を推進 施設数：2,000 施設（23.3月末現在）</li> </ul>	<p>【県健康福祉部】</p>
<b>食品の安全に関する知識の普及</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費生活情報紙「あいち暮らしっく」発行（年6回のうち2回に掲載 66,000部） 配布先：市町村等</li> <li>・食生活に関する消費生活講座開催（7回 22.12月末現在）</li> <li>・食の総合相談窓口での相談受付（84件 23.1月末現在）</li> <li>・Web ページ「食の安全・安心情報サービス」で情報提供</li> <li>・食の安全・安心タウンミーティング開催（22.8.31 岡崎市 始め 18回） 参加者：県民（延べ1,879名）</li> <li>・食の安全・安心県民セミナー開催（22.11.9 名古屋市 始め4回） 参加者：県民（延べ59名）</li> <li>・科学教室「食品を科学する～食品添加物(着色料)を調べてみよう～」【P.24 参照】</li> <li>・ヘルシーセミナー開催！食物アレルギーについて講演会と“デモンストラクション&amp;試食”【P.25 参照】</li> <li>・「あいち給食だより」発行          [「検査室より」コーナーに掲載]          5月号 検査の歴史から 7月号 検査技術講習会について          10月号 食品検査技術講習会を開催して          1月号 食品添加物ってなに？</li> <li>・「福祉医療公開講座」の開催【P.26 参照】</li> <li>・「食と健康アドバイザー」による啓発活動          [クッキングの開催やレシピ提案などを行うほか、愛知県食育推進ボランティアとしても活動。碧南市や安城市の保育園・幼稚園で食育シアターを行いました]</li> </ul>	<p>【県県民生活部】</p> <p>【県県民生活部】</p> <p>【県健康福祉部】</p> <p>【県健康福祉部】</p> <p>【県健康福祉部】</p> <p>【県健康福祉部】</p> <p>【県健康福祉部】</p> <p>【県産業労働部】</p> <p>【愛知県栄養士会】</p> <p>【愛知県学校給食会】</p> <p>【愛知県薬剤師会】</p> <p>【生活協同組合コープあいち】</p>




・食のセミナーの開催「うまみ調味料について」【P.26 参照】	【愛知消費者協会】
<b>トレーサビリティシステムの導入促進</b>	
・牛の個体識別情報管理の徹底指導	【県農林水産部】
・豚肉のトレーサビリティシステム導入組織への指導	【県農林水産部】
・鶏卵のトレーサビリティシステム導入組織への指導	【県農林水産部】
・貝毒検査の実施（8回 4～5月、3月）	【県農林水産部】
・貝毒原因プランクトン調査（18回 4～7月、12～3月）	
・県内JAで扱う農産物について、肥料・農薬の使用内容を記録する生産履歴記帳の取組を徹底し、産地としての信頼確保に努めている。	【愛知県農業協同組合中央会】
<b>飲食店や食品販売店等に対する衛生指導等</b>	
・食品衛生法の遵守状況に重点を置いた監視指導実施（72,589件 22.12月末現在）	【県健康福祉部】
<b>食品と医薬品の相互作用に対する普及啓発</b>	
・講演会の開催（22.11.28 あいち健康プラザ） 参加者：50名 〔演題：「漢方の知恵を生かした食育の話」〕	【愛知県薬剤師会】
・漢方の食養生を取り入れた「薬局食育マニュアル」を作成・配布 会員に配布予定2,800部	【愛知県薬剤師会】


## 2 食を通じて豊かな心を育むために

### (1) 食を通じたコミュニケーション

取組内容	報告者
<b>“おうちでごはんの日”の設定と普及</b>	
・献立表や食育だより等で家庭に啓発(全市町) 〔“毎月19日は「食育の日～おうちでごはんの日～」です”と記載〕	【愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会】
<b>給食を通じたコミュニケーションの促進</b>	
・「たてわり給食」を実施（22.6、10 大治町立大治南小学校） 対象：全校児童770名 〔全学年を組み合わせた班を構成し、班別に会食を実施。会食の計画は6年生が考え、各学年で係を分担。上級生が下級生を気遣い、会話を楽しみながら会食する姿が見られました〕	【県教育委員会】



<ul style="list-style-type: none"> <li>・「給食週間」を実施（23.1.24～2.7 みあい養護学校） 対象：全校児童・生徒 内容：給食集会（「牛乳」をテーマに愛知県酪農農業（協）の方を講師に搾乳模擬体験や簡単調理実習を実施） 食育に関する標語やポスターを募集し、展示 配膳員さんへの感謝の気持ちを伝える 地場産物に関する資料展示 給食ができるまでのビデオを視聴</li> </ul>	【県教育委員会】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「給食試食会」を実施（22.7.7） 対象：幼稚部・小学部の保護者</li> </ul>	【県教育委員会】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「給食週間」を実施（23.1.24～1.28 名古屋盲学校） 対象：全校幼児・児童・生徒 内容：給食週間の意味、地産地消献立、ふるさとの自慢料理、デザートセレクトの実施、給食の標語や作文の募集</li> </ul>	【県教育委員会】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の高齢者との交流活動を実施（高浜市立公立幼稚園） [交流会では、高齢者の方と一緒に給食を食べながら、昔の食事の話などを聞き、楽しい時間を過ごしました。高齢者の方からも大変喜ばれています]</li> </ul>	【愛知県国公立幼稚園長会】
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・半田市立宮池幼稚園「愛情いっぱい手づくり弁当」【P.31 参照】</li> </ul>	【愛知県国公立幼稚園長会】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 22 年度学校給食教室を開催【P.32 参照】</li> </ul>	【愛知県学校給食会】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・おうちで作ってみよう！【P.42 参照】</li> </ul>	【一宮市】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理員さんと一緒に給食【P.44 参照】</li> </ul>	【豊明市】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食集会で野菜クイズ大会を開催【P.45 参照】</li> </ul>	【弥富市】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「食と音楽のフェスティバル」を開催【P.46 参照】</li> </ul>	【半田市】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健センターで「婚活クッキング」を開催【P.48 参照】</li> </ul>	【美浜町】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・婚活料理教室「ここからキッチン」を開催【P.49 参照】</li> </ul>	【西尾市】

(2) 体験を通じた食の理解促進	
取組内容	報告者
家庭における料理や作物栽培体験の推進	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭で料理することの必要性を啓発（幸田町立中央小学校） [5年生が家庭科の授業で「チャレンジ！わが家のみそしる作り」で「みそしるレシピ」を考え、各家庭で調理をしました。単元のまとめでは、写真やイラスト、保護者の言葉を入れたレポートを作成し、発表会を開催。いろいろなみそしるが</li> </ul>	【県教育委員会】
	

あることや、調理する楽しさに気づき、再度家庭で調理にチャレンジした児童もいました。学習後は、全員が「みそしるレシピ」で「全国小学生食育作品コンクール」に応募しました]

- ・バケツ稲作セット（種もみ・肥料・栽培説明書のセット）を無償配布し、PRを実施

配布先：県内JAの各行事（11,860セット）、学校（7,290セット）、その他（396セット） 計19,546セット

- ・季節の野菜を使ったみそ汁会食の実施（名古屋市立神の倉幼稚園）

〔幼稚園で収穫した季節の野菜を使って年長児と先生と一緒にみそ汁を作ります。子どもたちは喜んでおかわりをし、普段家で野菜を食べない子も『家で作って』の声に、保護者も喜んでます〕



- ・トマト料理教室を実施（22.7.21 東海市）

参加者：親子40人

メニュー：野菜たっぷりパスタ、トマトサラダのスープ、「凜々子のスムージー」

〔東海市は加工用トマト栽培発祥の地で、食改・学校・農協・コミュニティ等が一体となり、トマトから健康づくりを推進しています〕

- ・コープの会「志段味えんママ」が食育企画を実施（23.1.24 守山区）

参加者：子どもとその保護者33名

内容：・ハムやウィンナーが原料から製品になるまで  
・ウィンナーの飾り切り実習



【愛知県農業協同組合中央会】

【愛知県国公立幼稚園長会】

【愛知県食生活改善推進員連絡協議会】

【生活協同組合コープあいち】

### 学校等における食に関する体験等の充実

- ・水産試験場公開デー開催（22.8.7 蒲郡市）参加者数：538名  
〔三谷水産高校、愛知県漁業士協議会の協力を得て、愛知県の水産業と試験研究についての理解促進を図りました〕

【県農林水産部】

- ・農楽の先生による小学校への出前講座

○獣医師の出前講座（22.6.15 名古屋市立平田小学校 始め6校）

受講者：延べ504名

○水産試験場研究員の出前講座（22.6.29 旧一色町 始め15回）受

講者：1,084名

○森林・林業技術センター研究員の出前講座（山守の先生）（豊川市立小坂井西小学校始め2校） 受講者：130人

○各地区の林業普及指導員による出前講座（刈谷市立衣浦小学校始め3校） 受講者284人

【県農林水産部】



- ・農作物を身近に感じる教育・保育活動の充実（豊田市立飯野小学校）  
〔3年生児童 100名は、春から大豆の栽培をしてきました。芽が出て双葉になる様子を観察しながら、育てる喜びと同時に植物も生きていることを実感しました。夏には、一部を枝豆としてみんなで味わいました。秋には収穫した大豆で石臼を使って「きな粉」を作りました。石臼体験は、初めての児童ばかりで、工夫された昔の道具に興味・関心を持つことができました〕



【県教育委員会】

- ・作物の収穫体験と給食献立への利用  
さつまいもほり会・収穫 対象者：小学部  
冬瓜作り・収穫 対象者：中学部  
〔地場産物を取り上げた給食だよりや保健給食委員による放送を実施〕

【県教育委員会】

- ・平成 22 年度学校給食調理コンクールを開催【P.34 参照】

【愛知県学校給食会】

- ・親子教室（調理実習）を実施（21.7～22.10 6回開催）  
参加者：61組

【愛知県健康づくり振興事業団】

- ・清須市立西枇杷島第 1 幼稚園 親子で楽しもう！「芋煮会」開催【P.35 参照】

【愛知県国公立幼稚園長会】

- ・阿久比町立ほくぶ幼稚園 採れた！みんなで育てた大根がいっぱい！お料理しよう！開催【P.35 参照】

【愛知県国公立幼稚園長会】

- ・白帝保育園「ぼくたちが育てたよ！」【P.36 参照】

【愛知県社会福祉協議会】

- ・大根の栽培、収穫、会食を実施  
（名古屋市立はとり幼稚園）



【愛知県国公立幼稚園長会】

- ・鏡開きとぜんざい会食の実施（23.1.11 名古屋市立鳴子幼稚園）  
〔お餅を食べると力が湧いてくることやあずきは体の中をきれいにしてくれることを子どもたちに話すと、「なんだかパワーが出てきたね」「体のばい菌がなくなったかな」などと会話が弾みました〕

【愛知県国公立幼稚園長会】

- ・夏野菜カレーの会食（名古屋市立西山台幼稚園）  
〔子どもたちが季節に合わせて野菜を育て、収穫する喜びを味わっています。夏に収穫したナス、ピーマン、トマト、オクラなどを使ってカレーの会食を行い、これがきっかけになり、家庭でも苦手な野菜が食べられるようになったという声が多く聞かれました〕

【愛知県国公立幼稚園長会】

- ・牛乳料理講習会 in みあい養護学校【P.36 参照】

【愛知県酪農農業協同組合】

- ・巨峰収穫体験【P.42 参照】

【春日井市】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めての田植え、稲刈り楽しかった！【P.43 参照】</li> <li>・保育園で楽しく調理体験【P.43 参照】</li> <li>・「市長を囲む子ども会議～食について考えよう～」で地産地消を意識した調理実習を開催【P.43 参照】</li> <li>・遊休農地で保育園児が農業体験をしました【P.44 参照】</li> <li>・市の特産物を使った料理の伝授【P.44 参照】</li> <li>・育てたお米で五平餅作り！【P.47 参照】</li> <li>・佐布里(そうり)保育園できなこ作り【P.47 参照】</li> <li>・蒲郡市子ども農業教室【P.50 参照】</li> <li>・「のりづくり体験教室」を開催【P.50 参照】</li> </ul>	<p>【犬山市】</p> <p>【尾張旭市】</p> <p>【尾張旭市】</p> <p>【日進市】</p> <p>【清須市】</p> <p>【大府市】</p> <p>【知多市】</p> <p>【蒲郡市】</p> <p>【田原市】</p>
<b>都市農村交流や農林漁業体験に関する情報提供等</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業体験研修の実施 対象：漁業就業に関心がある県民  1日目：22.7.4 参加者3名 愛知の漁業概要、漁港見学  2日目：22.11.8 参加者1名 船びき網体験  22.11.21 参加者1名 底びき網体験</li> <li>・Web ページで県内の主な潮干狩り場の情報（期間、問合せ先、最寄駅等）を発信</li> <li>・Web ページで県内の直売施設やふれあい体験施設など農林水産業に関する様々な情報を紹介。  [平成21年度からは「マップあいち」を活用し、地図情報の提供も開始]</li> <li>・県内指導林家が高校生の体験研修受け入れを実施  実施校：2校9人</li> <li>・「北部市場 食の物語フェア2010」への出展(22.10.31 名古屋市)  [箱の中に入っている野菜を当てるゲームコーナーや間伐材を使った箸の手作り体験コーナーを設置]</li> </ul>	<p>【県農林水産部】</p> <p>【県農林水産部】</p> <p>【県農林水産部】</p> <p>【県農林水産部】</p> <p>【生活協同組合コープあいち】</p>
<b>食に関する体験活動の充実</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品工場見学型リスクコミュニケーションを実施（2回）【P.25 参照】  [7.23 豊川市 参加者：親子15名 テーマ「みそ」  7.29 美浜町 参加者：親子10名 テーマ「えびせんべい」]</li> <li>・企業団とのコラボによる親子食育教室の開催【P.32 参照】</li> <li>・茶育を小中学校等で推進  愛知県茶業連合会が茶摘みや手もみ茶作りなどを指導。</li> </ul>	<p>【県健康福祉部】</p> <p>【県農林水産部】</p> <p>【県農林水産部】</p>

<p>〔田原市立童浦小学校の児童が知事に茶育の成果を発表し、新茶贈呈(22.5.12)〕 〔児童等による茶育の取組事例をパネル展示(22.10.24 田原市)、(22.11.22~23 名古屋市)〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいちの田舎わくわく体験ツーリズム推進事業の実施【P.33 参照】</li> <li>・職場体験学習実施(畜産総合センター(岡崎市及び安城市)) 参加者:中学生(延べ6校22名)</li> <li>・畜産物加工体験研修実施(延べ139日 畜産総合センター(岡崎市)) 参加者:延べ1,032名</li> <li>・少年水産教室の開催【P.33 参照】</li> <li>・消費者と生産者の交流が貴重な食育の場となっています【P.38 参照】</li> <li>・COP10生物多様性交流フェアへの出展(22.10.18~11.29) 来場者:約2,000人 〔稲からお米ができるまでのパネルと現物の展示、脱穀と籾摺り体験、間伐材を使った箸づくり、環境カルタづくりなどを実施〕</li> <li>・親子で農業体験【P.42 参照】</li> <li>・黒米オーナー収穫祭【P.44 参照】</li> <li>・地元のお米を使って米粉パン実習を開催【P.45 参照】</li> <li>・大人の食育「食材の寺子屋」【P.46 参照】</li> <li>・トマトによる健康づくり事業【P.46 参照】</li> <li>・みそづくり講習会を開催【P.47 参照】</li> <li>・食育体験ツアーで豆腐作り!【P.48 参照】</li> <li>・親子農業体験教室・親子収穫体験教室の開催【P.48 参照】</li> <li>・地引網で大漁!【P.49 参照】</li> <li>・たべよう まなぼう 野菜のチカラ!【P.50 参照】</li> </ul>	<p>【県農林水産部】</p> <p>【県農林水産部】</p> <p>【県農林水産部】</p> <p>【県農林水産部】</p> <p>【生活協同組合コープあいち】</p> <p>【生活協同組合コープあいち】</p> <p>【春日井市】</p> <p>【大口町】</p> <p>【大治町】</p> <p>【東海市】</p> <p>【東海市】</p> <p>【阿久比町】</p> <p>【岡崎市】</p> <p>【刈谷市】</p> <p>【西尾市(旧幡豆町)】</p> <p>【豊橋市】</p>
<b>農業高校生や農業者による体験指導活動の推進</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐屋高校で生涯学習講座を開催【P.45 参照】</li> </ul>	<p>【愛西市】</p>


<b>(3) 食文化の理解と継承</b>	
取組内容	報告者
給食における地場産物や郷土料理等の導入促進	



<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋市の学校給食に県産農産物を導入【P.39 参照】</li> <li>・学校給食に愛知県産牛乳を使用（全公立学校を含む小学校 980 校、中学校 414 校、夜間定時制高等学校 30 校、特別支援学校 34 校）</li> <li>・地元の漁業組合の協力を得て、旧幡豆町の特産品「あさり」を学校給食に取り入れることができるようになりました。また、地元で作られている「豆みそ」を使った郷土料理も取り入れています。 5 年生の総合的な学習の時間に、漁業協同組合長さん、みそ料理名人を講師に招いて、地元の産物や伝統的な料理について学びました。（旧幡豆町立東幡豆小学校）</li> <li>・愛知の郷土料理（6 月、11 月）と各都道府県の郷土食（月 1 回）を実施</li> <li>・「愛知を食べる学校給食の日」【P.40 参照】</li> <li>・“あいちを食べる学校給食の日”（6 月）や“学校給食週間”（1 月）に、地場産物や郷土料理を取り入れた給食を実施。全校集会、食育だよりや校内放送、ホームページ等を活用して、食文化の理解と継承に努める</li> <li>・広報紙あいち給食だよりの「献立紹介コーナー」での啓発 5 月号 愛知教育大学附属岡崎小学校「法性寺ねぎの玉子焼」 7 月号 大府市立石ヶ瀬小学校「たまねぎのかき揚げ」 10 月号 豊川市学校給食一宮共同調理場「トマトスープカレー」 1 月号 田原市給食センター「はちはい豆腐」</li> <li>・伝統野菜「方領大根」収穫祭【P.45 参照】</li> <li>・特産の筆柿が給食に登場【P.49 参照】</li> </ul>	<p>【県農林水産部】</p> <p>【県農林水産部】</p> <p>【県教育委員会】</p> <p>【県教育委員会】</p> <p>【県教育委員会】</p> <p>【愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会】</p> <p>【愛知県学校給食会】</p> <p>【あま市】</p> <p>【幸田町】</p>
<b>伝統料理等の継承</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいちの伝承・特産物料理を 5 か国語で情報発信！【P.39 参照】</li> <li>・農とくらしの研究発表大会 2011 を開催しました【P.41 参照】</li> <li>・食と農の親子体験隊【P.47 参照】</li> <li>・クッキング教室で「五平餅づくり」【P.49 参照】</li> <li>・みそ作りと郷土料理の雲助めし【P.50 参照】</li> </ul>	<p>【県農林水産部】</p> <p>【農村輝きネット・あいち】</p> <p>【大府市】</p> <p>【東栄町】</p> <p>【豊川市】</p>

### 3 食を通じて環境に優しい暮らしを築くために

#### (1) 環境に配慮した食生活等の推進

取組内容	報告者
<b>環境に配慮した食生活の普及推進</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>「レジ袋削減取組店制度」の運営 店舗数：341 店舗（愛知県内 50 市町、23.1 月末現在）</li> </ul>	【県環境部】
<b>環境に配慮した体験活動の促進</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>残菜を堆肥に利用すること、捨てればごみであるが、利用すれば資源となること、好き嫌いをなくし資源の無駄をなくすことについて、家庭科の授業で学びました。</li> </ul>	【県教育委員会】
<b>学校や社員食堂等での食品廃棄物減少の推進</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>「残菜 0 運動～めざそう！盛り付けパーフェクト」の取組（旧一色町立一色中部小学校） 〔給食委員が、配膳終了時に自分達が食べるべき量を考えて、盛り付け残しをなくすよう呼びかけました。その後、調査した結果、残菜は取組の前に比べ約半分になりました〕</li> </ul>	【県教育委員会】
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>給食残菜で肥料作り</li> </ul>	【県教育委員会】

#### (2) 地産地消の推進

取組内容	報告者
<b>本県農林水産物の P R と利用促進</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>「あいちのふるさと農林水産フェア」で地産地消・食育を P R 【P.51 参照】</li> </ul>	【県農林水産部】
<ul style="list-style-type: none"> <li>「よくわかるあいちの農業」作成・配布 配布先：農業関係団体、市町村のほか、各種行事や県民生活プラザで県民に配布（5,000 部）、Web ページにも掲載 〔愛知県農業振興基金と協働で作成〕</li> </ul>	【県農林水産部】
<ul style="list-style-type: none"> <li>もっと、「あいちの茶」を知ってください！！【P.52 参照】</li> </ul>	【県農林水産部】
<ul style="list-style-type: none"> <li>米粉・Rice Powder フェア 2010 - 県産米粉を使った食品を一堂に集めて P R 【P.52 参照】</li> </ul>	【県農林水産部】
<ul style="list-style-type: none"> <li>名古屋グランパスの試合会場で“愛知のかき”を P R 【P.53 参照】</li> </ul>	【県農林水産部】
<ul style="list-style-type: none"> <li>愛知県の漬物の販売と P R を実施（22.11.20～23 あいちの農林水産フェア） 〔愛知県漬物協会による販売とアンケート〕</li> </ul>	【県農林水産部】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいちのかんきつフェアを開催（22. 11. 28 名古屋市内） [子どもたちによる「みかん狩り体験」、県育成品種の展示、機能性の紹介、県産かんきつの即売等で、愛知県産かんきつのおいしさや機能性をPRしました]</li> </ul>	【県農林水産部】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県産ぶどうといちじくの愛知県果実品質改善共進会と消費宣伝会を開催 ぶどう（22. 8. 19 春日井市）、いちじく（22. 8. 26 名古屋市）</li> </ul>	【県農林水産部】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県産いちごの品評会と消費宣伝即売会を開催（23. 1. 18 幡豆町他）</li> </ul>	【県農林水産部】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市・漁村青年交流会開催（22. 9. 4 名古屋女子大学、愛知県漁業士協議会主催） 参加者：食物栄養学科学生 15 名 内容：魚料理の講習会、意見交換等</li> </ul>	【県農林水産部】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別料理講習会開催（22. 8. 21 名古屋市 栄中日文化センターとの共催） 参加者：県民 30 組 60 名</li> </ul>	【県農林水産部】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・知多地区漁業士会魚食普及交流会開催（22. 7. 17 美浜町） 参加者：日本福祉大学学生 30 名、大学職員等 20 名</li> </ul>	【県農林水産部】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・畜産フェスタの開催（22. 10. 23～24 畜産総合センター（岡崎市）） 参加者：延べ 5, 600 名</li> </ul>	【県農林水産部】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「きのこ料理パンフレット」等配布（22. 11. 20～23 あいちのふるさと農林水産フェア） [「愛知県森林協会きのこ生産分科会」が県産きのこ（原木・菌床）をPR・販売]</li> </ul>	【県農林水産部】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・献立表や食育だより等で家庭に啓発(全市町) [“いいともあいち”のロゴを記載]</li> </ul>	【愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・父の日に乳(ちち)を贈ろうキャンペーン【P.54 参照】</li> </ul>	【愛知県酪農農業協同組合】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県産加工用とまとを使った「愛知で育ったとまとのあいす」の開発（学校給食でも提供）</li> </ul>	【生活協同組合コープあいち】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・三河一色うなぎまつりを開催【P.58 参照】</li> </ul>	【西尾市(旧一色町)】
<p>給食における地場産物の利用促進</p>	





<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食に地場産物を利用 〔豊田産の米（大地の風）、小麦、大豆、抹茶、柿、梨や桃〕</li>   <li>・地元農家から提供された食材を給食に利用（豊根村立豊根中学校） 〔春先には「山菜」がたくさんとれるので、生徒たちは近くの山でわらびやぜんまいなどの山菜採りをします。生徒が生活する寮では、たらの芽やふきが採れ、給食や寮食で天ぷらや煮物で味わい、自然や季節を感じることができます〕</li>   <li>・栄養教諭・学校栄養職員を対象にした食農教育研修会（23. 1. 29） 内容：愛西市のレンコン農家、ミツバ農家を視察 参加者：50名 〔農産物の生産現場を見てもらい、食の大切さとともに農業の魅力について知ってもらう機会を増やすことを目的に開催〕</li>   <li>・地域の地場産物を献立に取り入れる（県内全市町） 〔全校集会、食育だより、校内放送やホームページ等を活用して、地場産物の導入は環境の面からも配慮できることを普及・啓発〕</li>   <li>・学校栄養・愛知産の「れんこん・ふき・大豆・キャベツ、にんじん、玉葱、うずら卵、豚肉、鶏肉等」を使用した物資を独自に開発し、学校給食へ提供し、地産地消に努めた</li>   <li>・地産地消学校給食会会員のは場見学【P.57 参照】</li>   <li>・親子で調理実習！【P.58 参照】</li> </ul>	<p>【県教育委員会】</p> <p>【県教育委員会】</p> <p>【愛知県農業協同組合中央会】</p> <p>【愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会】</p> <p>【愛知県学校給食会】</p> <p>【大治町】</p> <p>【豊根村】</p>
<p><b>地産地消を実践する機運の醸成</b></p>	
<p>いいともあいち運動による地産地消の推進【P.51 参照】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食委員による食育集会を開催（23. 1. 25 飛島村立小中一貫教育校 飛島学園飛島小学校） 対象者：生徒 179人 〔生産農家を取材し、生産から収穫までの様子を紹介しました〕</li>   <li>・地産地消の簡単なヘルシーメニュー【P.57 参照】</li>   <li>・農業まつりで地産地消のPR【P.57 参照】</li>   <li>・「へきなん美人」を勉強したよ【P.57 参照】</li>   <li>・梨&amp;いちじくを使ったアイデア料理コンテスト【P.58 参照】</li> </ul>	<p>【県農林水産部】</p> <p>【県教育委員会】</p> <p>【江南市】</p> <p>【常滑市】</p> <p>【碧南市】</p> <p>【西尾市(旧吉良町)】</p>



(3) 農林水産業や食品関連事業における環境への配慮	
取組内容	報告者
<b>農業生産における環境への配慮</b>	
・「農業高校生による生物多様性啓発事業」の実施【P.55 参照】	【県農林水産部】
・生物多様性に配慮した農業推進フォーラムの開催【P.56 参照】	【県農林水産部】
<b>農業における資源循環の推進</b>	
・家畜排せつ物処理の効率化、ニーズに即した良質なたい肥の安定的な生産を促進するために必要となる処理高度化施設を整備 整備数：97 か所（H17～22.11月末累計）	【県農林水産部】
・「あいちの米たまご」開発 〔愛知県産のお米（粳）を10%配合した飼料で育った鶏の卵。稲作農家と鶏卵生産者が手を結び、鶏糞発酵堆肥の活用など資源循環型の取組としても推進〕	【生活協同組合コープあいち】

## 4 食育を広めるために



(1) 食育にかかる人材の育成	
取組内容	報告者
<b>学校における食に関する指導体制の充実</b>	
・食育シンポジウムの開催【P.59 参照】	【愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会】
・豊川市立南部中学校「学校栄養職員と連携して食の大切さを伝える」【P.61 参照】	【愛知県小中学校長会】
<b>管理栄養士・栄養士の研修と配置の推進</b>	
・保健所・市町村等栄養士を対象に研修会を開催（年2回（22.5、23.3））	【県健康福祉部】
・全国学校給食振興期成会の活動を通して、栄養教諭の配置に改善の推進に努めた。	【愛知県学校給食会】
<b>食育推進にあたるボランティア等の育成と活動の推進</b>	
・食生活改善推進員講習会（5地区）	【県健康福祉部】
・食育の担い手養成講座の開催【P.59 参照】	【県農林水産部】
・食育推進ボランティア研修会等の開催（22.7.15 岡崎市 研修会（参加者 196名）、23.2.18 名古屋市 活動報告会（参加者 113名））	【県農林水産部】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・林業普及指導員が、地域の森づくり活動グループの活動を支援 (21グループ)</li> <li>・「輝きネット・あいちの技人」認定式を開催【P.61 参照】</li> <li>・JAグループ愛知における『食農教育』の取組【P.60 参照】</li> </ul>	<p>【県農林水産部】</p> <p>【農村輝きネット・あいち】</p> <p>【愛知県農業協同組合中央会】</p>
---	--

## (2)食育ネットワークの構築

取組内容	報告者
<b>市町村との連携による食育の推進</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小牧市食育推進チームによる食育啓発【P.65 参照】</li> </ul>	【小牧市】
<b>イベントの開催や情報交流の促進</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「農」と水の故郷(ふるさと)フェア'10 の開催～食料消費のコーナー～【P.56 参照】</li> <li>・「愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究大会」参加 (22.8.26 ウィルあいち)</li> <li>・畜産フェスタで楽しい酪農イベント【P.37 参照】</li> <li>・メーカーイベントで健康・食生活をPR【P.64 参照】</li> <li>・食育イベントで「エプロンシアター」「食まるファイブ」を上演 (22.10.17 豊明市役所) 参加者：約 200 名の親子          [出展ブースでは、「やさいのおなかクイズ」「たべものクイズ」「手ばかり栄養法」を実施]</li> </ul>	<p>【県農林水産部】</p> <p>【愛知県薬剤師会】</p> <p>【愛知県酪農農業協同組合】</p> <p>【日本労働組合総連合会愛知県連合会】</p> <p>【生活協同組合コープあいち】</p>
 <p style="text-align: center;">エプロンシアター</p>	 <p style="text-align: center;">食まるファイブ</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「なごや食フェスタ 2010」に食育体験企画コーナーを出展 (22.3.20～22 吹上ホール)</li> <li>・食育プチまつり【P.65 参照】</li> <li>・食育月間・食育の日に食育フェスタ開催【P.66 参照】</li> <li>・食育まつり開催【P.66 参照】</li> <li>・食彩フェスタ 2010 開幕【P.66 参照】</li> </ul>	<p>【生活協同組合コープあいち】</p> <p>【北名古屋市】</p> <p>【豊田市】</p> <p>【新城市】</p> <p>【設楽町】</p>

食育に関する総合情報サイトの開設等	
・家庭や地域へタイムリーな情報を発信するため、ホームページを有効活用している。	【愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会】
NPO等の活動促進	
・「あいち食育いきいきキャンペーン」の開催【P.62 参照】 ・なごや食育応援隊による食育講座を開催【P.65 参照】	【県農林水産部】 【名古屋市】

(3)食育の普及・啓発等	
取組内容	報告者
食育啓発資料の作成・配布	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・若年層向けのメタボ予防・啓発映像の作成、配信【P.20 参照】</li> <li>・「あいち食育いきいき検定」を実施【P.63 参照】</li> <li>・食育啓発資料の作成（2種） 「いただきます あいちの食育」（45,000部） 「あいちの食を学ぶワークブック」（15,000部）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【県健康福祉部】</li> <li>【県農林水産部】</li> <li>【県農林水産部】</li> </ul>
 	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生食育啓発ポスターコンクールを実施しました【P.62 参照】</li> <li>・県産農林水産物を紹介する外国語パンフレットを作成【P.53 参照】</li> <li>・朝ごはん啓発リーフレット作成・配布 配布先：県内の小学5・6年生（150,000部）</li> <li>・農業教育用資料「愛知の農業」作成・配布 配布先：県内の全小学生5年生（80,000部）</li> <li>・農産物直売所情報誌「フレ（愛知県版）」編集・発行 配布先：JA施設や公共施設等に配置し無償配布（2010年春号20,000部、秋号30,000部）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【県農林水産部】</li> <li>【県農林水産部】</li> <li>【県教育委員会】</li> <li>【愛知県農業協同組合中央会】</li> <li>【愛知県農業協同組合中央会】</li> </ul>



<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育実践のための教材開発【P.64 参照】</li> <li>・献立集「ずっと食べ続けたいな！ふるさとの自慢料理」の発行・配布 配布先：学校給食教室に参加した保護者及び県内の栄養教諭・学校栄養職員 〔学校給食調理コンクール最優秀・優秀・入選作品〕</li> <li>・学校給食週間にかつきーちゃん入り卵焼きを使用【P.66 参照】</li> </ul>	<p>【愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会】</p> <p>【愛知県学校給食会】</p> <p>【知立市】</p>
<b>食育に関する優良事例表彰等の実施</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・だいきっず倶楽部（高浜市）が内閣府の「食育推進ボランティア」表彰を受賞（22.6.12 佐賀県・第5回食育推進全国大会で表彰） 受賞者数 10 件、推薦団体数 64 件 〔農家の協力の下、地域の子どもたちと大豆の種まきから収穫までを行い、その収穫した大豆で豆腐づくりを行う「自分で作って食べる」活動を年間を通して実施〕</li> </ul>	<p>【県農林水産部】</p>
<b>食育に関する調査の実施</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAなど生産者団体と連携し、農産物のほ場見学会に参加し、県内産食材の活用率を上げるための方策をお互いに話し合った。</li> </ul>	<p>【愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会】</p>